

10月度山行報告書			報告者	長島	参加メンバー	L: 亀山さん、山田さん、 江頭さん、長島
			報告日	06/11/8		
山域	愛知県 豊田	山行日	06年10月14(土)			
山名	南山					
山行目的	岩登りトレーニング		コースタイム:	天候: 土 - 曇り時々晴		

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集会  
担当者

ルート図 <男岩>



真ん中あたりで3ルートを設定。

10月14日(土)  
8:40 南山ロックガーデン着  
9:00 クライミングシューズ@男岩  
12:10 昼休憩  
14:00 登山靴&アイゼン@男岩  
16:40 終了

報告 南山ロックガーデンにて岩登り訓練を行った。8時40分着、前日の雨の影響で南山は空いていた。女岩は無人。男岩へ足を向ける。男岩には豊田自動車山岳部さんが6名(内、新人2名)程で岩登り訓練をしていた。トヨタさんと並びデンソーも練習を始める。デンソーとしては久しぶりの岩登り訓練である。まず、各自自己ピレイ トップ(亀山さん)登攀、トップがセカンド(山田さん)を確保、セカンド登攀、セカンドが頂上で完了後亀山さんの指導の元、後ろに続くクライマーを確保。頂上での自己ピレイ、セカンドの確保、降りは懸垂下降。すべて基本中の基本なのだが、机上の知識だけでは足りない判断力と技術、経験不足を痛感する。各自2本ずつ登り降りした。トヨタさんは午前からの練習で帰っていたが、私たちは午後からの訓練の為、昼休憩とした。その場に居合わせたクライマーとの会話に華が咲き、長めの昼休憩となった。午後は冬登山靴にアイゼンを付けて登攀練習。各自2本。時期的に冬山を想定してか、その日は他パーティーでもアイゼンでの男岩を練習している人たちがいた。今回(記憶にある限り)初めてアイゼンを付けての岩登りを、訓練の一環として行ったが、足運び、アイゼンの利き等は未知の感覚であり、初心者は一度経験しておいても良いのではないかと感じた。

<感想> 岩は登る為の知識や技術が必要であり、技術が無ければ登ってはいけないと思うが、実践なくしては技術は身に付かない。確保技術やザイルワーク等は、岩に限らず山登りに必要な技術であると思うので、今後は社外の講習会へも積極的に参加し、技術と知識の向上を努めていく事が必要ではないかと感じました。

<リーダー所見> 岩登り訓練は定期的実施し、岩の感触や手際よいロープさばき・確保のセッティングなどを身体に覚えさせる必要があると思う。今回、若手の参加で有意義なトレーニングになったと思う。



確認  
(リーダー)  
亀山 誠

作成  
報告者)  
長島 博美